



夢に向かう新たな一年

校長 伊藤 栄司

新年おめでとうございます。

令和8年(2026年)の幕開けを迎え、皆さまにとって健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年は「午(うま)年」。馬は古来より、力強く駆ける姿から「前進」「飛躍」「行動力」の象徴とされてきました。午年は、物事が活発に動き出し、勢いよく進展する年とも言われています。子どもたちの学びや成長もエネルギーに満ちた1年になることを願っています。

冬季オリンピック

さて、令和8年(2026年)は世界的にも注目の年です。来月には、イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォを舞台に、第25回冬季オリンピックが開催されます(開催期間:2月6日~22日)。この大会では、スキーやスケートなどの伝統的な競技に加え、新競技として「スキモ(山岳スキー)」が初めて採用されます。雪山を登り、滑り降りる過酷な競技で、自然との一体感や挑戦する強い気持ちが求められます。午年にふさわしい、一流のアスリートが力強く前進する姿を見られるのではないかと楽しみにしています。

また、日本代表選手の活躍も大いに期待されています。フィギュアスケートやスピードスケート、スキージャンプなど、子どもたちにも人気の高い競技があげられます。テレビやインターネットを通じて、世界の舞台で奮闘する選手たちの姿を目にすることで、子どもたちの夢や目標にも良い刺激なることを期待しています。

夢をかなえる

昨年末に冬季オリンピック3大会連続出場、ショートトラックスピード競技の勅使川原郁恵選手にお話を聞く機会がありました。「夢を実現する子供たち」の演題でご講演いただいたのですが、「教育の最大の役割は、子どもが夢をもち挑戦できる環境を整えることです。」とお話されていたことが強く印象に残っています。

また、子どもとの豊かな信頼関係の構築、成功体験、失敗からの学び、手本となるロールモデルの存在、レジリエンス(回復力)、承認(褒められ、自信をつける)、健康と利他の視点の7つの要素が夢の実現を支える鍵となると自らの経験をもとにお話いただきました。

夢をもつ

子どもたちの中には、実現しなかったとき恥ずかしいからといって、あまり夢について語ろうとしない傾向があります。「言いたくない」「やりたいことが見つからない」といった声も聞こえてきます。

まずは、「将来こんな人になりたい。」「こんな仕事に就きたい。」と夢を語れるように育てていきたいですね。そのためには、何事にも興味をもったりチャレンジしたりすることが大切です。自分で目標(課題)をたて、自分で調べ考え、解決する学習を多く取り入れ満足感や充実感を得られるような学習を行い、意欲をもって力強く前進できるよう指導していきます。

午年の勢い

冬休みを終え、子どもたちはまた一つ成長した姿で登校してきました。新しい年の始まりは、心を新たにする絶好の機会です。午年の勢いに乗って、子どもたちが自分らしく、のびのびと学び挑戦できる一年となるよう学校全体で支えていきます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。